



セーブザブルー
『SAVE the BLUE 物語』の

感想文・感想画をかいて「サンゴ留学」に行こう！


最優秀賞の小学生を沖縄にご招待

株式会社コーセー(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 一俊)は、環境省が取り組む「国際サンゴ礁年 2018」のオフィシャルサポーター*1として、同じくオフィシャルサポーターである毎日新聞社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 丸山 昌宏)と連携し、全国の小学生と保護者に向けた『SAVE the BLUE 物語』感想文・感想画をかいて、「サンゴ留学に行こう!」の企画を実施します。

6~7月に、「毎日小学生新聞」に連載された『SAVE the BLUE 物語』を広く皆さまにお読みいただけるよう、今回の感想文・感想画募集に合わせて、7月31日より当社の「雪肌精『SAVE the BLUE』」ウェブサイト内にも掲載*2します。PCやスマートフォン等で読むことができます。

事業活動であるとともに、企業として継続的に取り組んでいる「(雪肌精のボトルと同じ)美しい青い海を守る」活動である『SAVE the BLUE』プロジェクト*3について、未来を担う小学生やご家族へ向けて発信することを通じて、SDGs*4の目標のひとつである「海の豊かさを守ろう」への貢献を目指しています。



*1 国際サンゴ礁年 2018  (環境省サイト内) <https://www.env.go.jp/nature/biodic/sango2018/index.html>

*2 SAVE the BLUE 物語 (雪肌精 SAVE the BLUE サイト内) <http://www.savetheblue.sekkisei.com/story/index.html>

*3 『SAVE the BLUE』プロジェクト (リリース) <http://www.kose.co.jp/company/ja/content/uploads/2018/05/20180521.pdf>

*4 SDGsとは (グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン サイト内) <http://www.ungcjin.org/sdgs/index.html>

当社は2009年より毎年夏に、代表ブランド『雪肌精』を通じた『SAVE the BLUE』キャンペーンを行い、お買い上げいただいた該当商品の底面積に相当する広さの沖縄の海底に、サンゴの植え付けを行っていくことで、沖縄のサンゴ礁を再生する活動に役立てています。活動の10年目にあたり、かつ国際サンゴ礁年でもある本年は、オフィシャルサポーターとして、さらにサンゴ礁保全について広く発信する取り組みを行います。

毎日小学生新聞やウェブサイトに掲載された『SAVE the BLUE 物語』を読んだ全国の小学生に向けて、8月末までの期間、4~6年生には感想文、1~3年生には感想画を募集します。後日、審査により選ばれた優秀作品を表彰し、賞品を贈呈するとともに、ウェブサイト*2,5で作品を紹介します。最優秀賞の小学生は、11月下旬に保護者とともに沖縄への「サンゴ留学」に招待し、そのサンゴ留学の様子も紹介する予定です。募集窓口は「毎日メディアカフェ」となっており、募集要項はその特設サイト*5にて公開しています。

(サンゴ留学は、気象条件等の要因によっては、やむを得ず中止、延期となる可能性もあります。)

*5 毎日メディアカフェ 特設サイト「感想文・感想画をかいて、「サンゴ留学」に行こう!」

(募集要項等は、こちらをご覧ください)

<https://www.mainichimediacafe.net/>

『SAVE the BLUE 物語』について

『SAVE the BLUE 物語』は、「毎日小学生新聞」に、2018年6月2日から7月21日まで全8回にわたり連載されました。物語に登場するのは、沖縄を舞台に、子どもの頃の美しいサンゴ礁の海を取り戻したい、という強い思いで奮闘し活動する金城浩二さんが中心となって、コーセーとの出会いから生まれた『SAVE the BLUE』(青い海を守る)の物語です。(記事執筆: 毎日新聞社 明珍美紀記者)

『SAVE the BLUE』プロジェクトによるサンゴ礁保全活動について

サンゴ礁には、温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収する重要な機能があります。また海の生物の4分の1が暮らしているといわれ、サンゴ礁が形づくる生態系、豊かな海の恵みは、必ず未来へと引き継いでゆくべきものです。しかし、地球温暖化による海水温の上昇などによって起こる白化現象や、オニヒトデ等が主な原因で、沖縄を初めとする世界のサンゴ礁は近年大きく減少しています。

コーセーの『SAVE the BLUE』プロジェクトでは、国内外の多くのお客さまにご愛用いただいている代表ブランド『雪肌精』の売上の一部を、それぞれの国と地域の環境保護のために寄附し、継続的に様々な環境保全や啓発活動を行っています^{※6}。プロジェクトの名称には、ブランドを象徴するボトルの“瑠璃色”から連想される“美しい海”を次世代につなげたいという願いが込められています。

※6 『SAVE the BLUE』プロジェクト (コーセーCSR サイト)

<http://www.kose.co.jp/company/ja/csr/special1/>

日本の『SAVE the BLUE』プロジェクトでは、2017年度迄の計9年間で14,440株のサンゴの移植費用を寄附し、沖縄の海に25mプール(375m²)の約23.3倍のサンゴの森が広がりました。2011年からは、育ったサンゴの産卵も確認され、卵が海流に乗って、さらにサンゴの森が広がっています。プロジェクト開始以来のサンゴを植えた本数、面積の推移はもちろん、小さな苗が海底でサンゴ礁へと育ていった様子は、当社のウェブサイト^{※7}でも公開しています。

※7 雪肌精 SAVE the BLUE サイト

<http://www.savetheblue.sekkisei.com/>



2009年(1年目)の雪肌精のサンゴの森



2017年(9年目)の雪肌精のサンゴの森

2016年夏には、海水温の上昇の影響でサンゴの死滅につながる白化現象が世界各地で発生したなか、『SAVE the BLUE』プロジェクトにより植え付けてきた養殖サンゴから、高水温に強く、白化せずに生き残ることのできる‘スーパーサンゴ’が現れました。画期的な発見として、その詳しい研究が進められています。

サンゴ留学とは

当社では、美容スタッフを初めとする社員や取引先である流通企業などに向け、プロジェクトの意義をよく理解したうえで取り組みできるよう、沖縄での「サンゴ留学」などを通じた啓発活動を続けています。サンゴ留学では、沖縄でサンゴ礁の復活のために努力を続けてきた金城さんのお話を直接伺うとともに、「サンゴの苗づくり」体験などを通じて、金城さんの思いや活動の意義などを、楽しみながら学ぶことができます。

今回、当社として初めて、最優秀賞の小学生と保護者を「サンゴ留学」にご招待します。

SAVE the BLUE プロジェクトを通じた SDGs への貢献

当社は、国連グローバル・コンパクトに署名するとともに、国連の提唱するSDGsへの貢献に取り組んでいます。日本においては、夏のキャンペーンによる「SAVE the BLUE」プロジェクトを通じて、主に「14 海の豊かさを守ろう」への貢献に努めていますが、2018年度からは、本プロジェクトを「青い地球を守る活動」へと進化させ、冬の期間に森林保全活動も新たに開始して、「15 陸の豊かさを守ろう」への貢献も目指していきます。



14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを守ろう

※当社の SDGs 貢献について、詳しくはこちら。(CSR サイト)

<http://www.kose.co.jp/company/ja/csr/target/>

※お客さまからのお問い合わせは、お客様相談室 ☎ 0120-526-311 でお受けしています。

※『SAVE the BLUE 物語』の感想文・感想画の応募に関しては、※5 をご参照のうえ、必要であれば「毎日メディアカフェ」にメールでお問合せください。 info@mainichimediacafe.jp